

食堂、体育館を建設

新習志野キャンパス 再開発進む



新体育館の外観



新食堂棟の外観



新体育館のアリーナ



クラシカルな雰囲気のある2階食堂スペース

国際交流の「会館」も

食事スペースと、広場とつなぐテラス、購買セクションが配置される。2階の食堂スペースはクラシカルで落ち着いた空間に。ラウンジも座席が十分に用意され、学生、教職員らの交流スペースになる。デッキテラスは購買へと続く。3階は多目的スペースとしてレセプションなどにも使用。屋外テラスからは新習志野キャンパスの新しい風景が広がる。

新体育館は6号館(図書館)の南東に移設。従来の機能のほか、バスケットボールコート3面分のアリーナを用意。ファサードは波形ガラスのカーテンウォールで構成される。外からも内部の様子が見え、トレーニングルームも完備され、学生たちの授業や部活動などさまざまな活用に心える、広い体育館となる。



食堂棟・体育館新築工事の地鎮祭は4月6日、新習志野キャンパスで行われた。写真：瀬戸熊修

工事の安全へ地鎮祭

新習志野キャンパスで行われた地鎮祭は4月6日、新習志野キャンパスで行われた。写真：瀬戸熊修

理事長、小宮一仁学長をはじめ、学関係者、設計、施工の代表者ら約70人が出席。祝詞奏上、入の儀、玉串奉奠などを行い、全員で工事の安全を祈願した。

NEWS CIT

2015
5.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 ILY-Aに世界の視線/山崎研も出展/ステアラボ開設/コマ大戦に瀧野研/新評議員に平塚教授
- 3面 工藤さんに笹川科学研究助成/尾上・山本研5人受賞/友納副所長、入江主任研究員が優秀論文賞/坂本研が論文賞/初代ベストティーチャー賞は鴻巣教授
- 4面 4会新会長が抱負/幻の決勝戦に森田教授/桜を見る会に内田准教授/訃報/未来人「川澄圭祐さん」
- 5面 27年度予算案を承認
- 6面 新任紹介

クールビズ実施中



5月1日~9月30日

新習志野キャンパス再開発に伴う新食堂棟と新体育館(ともに仮称)の建設工事が、来年3月完成を目指してスタートした。食堂は座席不足の解消を図り、体育館は設備拡充のため移設。また、海外大学や留学生との交流拠点として国際交流会館(仮称)の運用などの構想を急ピッチで進める。

千葉工業大学 新学部学科説明会

工学部・創造工学部・先進工学部
2015.6.7(SUN)12:00~17:00
J/F京葉線 新習志野駅
新習志野キャンパス
地下鉄 徒歩6分

巡回バス 運行スタート

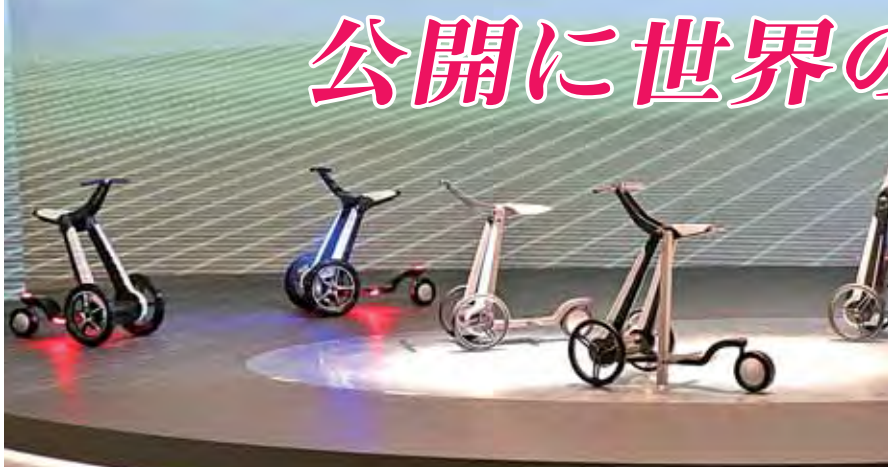
千葉工業大学と神田外語大学間のバスの巡回運行が始まります

千葉工業大学 × 神田外語大学

デザイン = 神村理芽さん(デザイン科学科3年)
ディレクション = 長嶋 唯さん(デザイン科学専攻修士1年)

公開に世界の熱視線

I L Y-A ミラノで



本紙4月15日号で既報の通り、イタリアの「ミラノデザインウィーク2015」(4月14〜19日)で世界に公開された近未来型一人乗りモビリティ「ILY-A」(アイリーエー)は、未来ロボット技術研究センター(fuRO)とデザイン・テクノロジーが共同開発。斬新な小型デザインに秘めた4モードの新提案に、世界中から集まったデザイナー関係者やメディアは、興味津々の視線を送った。ミラノデザインウィークは最先端のデザイン、インテリアが集まる世界最大規模のデザインの祭典。「ILY-A」はこれからの人の暮らしを考へて「Imagine the Future」という意味の「Imagine New Days」と題したアイシンの出展会場に登場。ビークル、キックボード、カート、キャリパーの4モードを来場者に披露した。



ミラノの展示会場で

特に開幕前日の4月13日に行われたプレスビューでは、「ILY-A」を動かしながら、古田貴之fuRO所長が英語と日本語でロボット技術を応用したさまざまな新開発の機能を解説。集まった報道・デザイナー関係者は熱心に説明に聞き入った。ガラス張りの会場の正面には「Chiba Institute of Technology (fuRO)」と案内が掲げられ、本学をアピール。日本の報道関係者も多数訪れ、フジテレビの人気ワイドショー「めざましテレビ」は4月20日、デモの模様を「ミラノデザインウィーク」正式には「インターナショナル・サローネ・デル・モービレ」(ミラノ国際家具見本市)。毎年4月に開かれ、今年で54回。世界中から30万人以上が詰めかける。

「ステアラボ」開設

人工知能研究の最先端拠点

所長に米澤氏

本学は4月1日付で「人工知能・ソフトウェア技術研究センター」(STEALab)を開設した。所長には東京大情報理工学部教授、同情報基盤センター長、独立行政法人理化学研究所計算科学研究所機構副機構長などを務めた米澤明憲氏が就任した。未来ロボット技術研究センター(fuRO)、脳神経網をモデルにした学習機能をもつソフトウェアを使って情報を処理する「人工知能」の研究もまた、長足の進歩を遂げ、GoogleやFacebookなど多くの企業が人工知能に関する研究を設立している。「ステアラボ」は、これらの世界的有名企業の人工知能研究に伍して独自の新たな研究成果を広く社会に還元し、人材を育成することが目的だ。米澤氏は「並列オブジェクト」と呼ばれるコンピュータ・ソフトウェアに関する研究で40年近く世界の先頭に立ってきたこの分野の第一人者。



フィギュア販売 山崎研と瀬戸熊理事長



「春」テーマに作品販売
「ミラノデザインウィーク2015」には、デザイン科学科・山崎和彦教授の研究室からも大学院生3人、学部生7人が参加し、それぞれの作品を展示・販売した。山崎の参加は6回目。今回の展示のコンセプトは日本の「春」。ブー

スに、桜の木に見立てた柱にピンクの折り紙の桜の花を咲かせ、その前で学生が個々に製作した作品を展示して、来場者に買ってもらう趣向だ。展示された作品は▽桜の花をかたどった「びゅんびゅんコマ」▽よい香りのする模造の花びらをデザインした「自分でデザインしたものを販売する、それも海外でも売れる」というのは全く初めて。コミュニケーションに不安があったけれど、褒められるのが嬉しい。買ってもらうことで、2008年には国際オブジェクト技術協会から、オブジェクト指向技術の分野で世界的に最も権威のある「メカニクス賞」をアジアで初めて受賞。2009年には紫綬褒章を受章している。(センター名となったSTEALabはSoftware Technology and Artificial Intelligence Research Laboratoryの略)

恒例・山崎研も

「春」テーマに作品販売

Roスタッフを激励した。デザイン科学科・山崎和彦教授の研究室のブースも訪れ、学生たちの活躍にエールを送った。入れた「桜のボトル」▽杉の間伐材の薄板をレーザーカッターで加工した蝶ネクタイ▽桜の花模様を漢字をデザインしたキーホルダー▽桜の花をデザインしたプレスレットとヘアアクセサリーなど。「春」に躍動する日本の高校生を撮った写真集もあった。今年も人気を集めたのはステンレス板で作った、立体に変化する動物のフィギュア「ステンレス」で、1個12ユーロの値段なのに飛ぶような売れ行きだったという。参加者の1人、川添徹也君(4年)は「自分でデザインしたもの販売する、それも海外でも売れる」というのは全く初めて。コミュニケーションに不安があったけれど、褒められるのが嬉しい。買ってもらうことで、2008年には国際オブジェクト技術協会から、オブジェクト指向技術の分野で世界的に最も権威のある「メカニクス賞」をアジアで初めて受賞。2009年には紫綬褒章を受章している。(センター名となったSTEALabはSoftware Technology and Artificial Intelligence Research Laboratoryの略)

瀧野研、善戦及ばず

全日本製造業コマ大戦



コマをぶつけ合って熱戦 (円内右が本学のコマ)

直径20mm以下、全長60mm以下の2個のコマが、緩いすり鉢状の土俵の上で熱い戦いを繰り広げる。「全日本製造業コマ大戦」に機械サイエンス学科の瀧野研チームの出場した。瀧野研チームのコマは、辻和哉、鈴木洗太、小山拓哉、柄澤純、大藤直紀君の5人(全員4年生)が3月から約1カ月をかけた、工作センター・村越タテコと当たった。本学チームはコマ回し名人、大藤君を立てて戦ったが、2回連続して勝った方が2回戦へとというルールで惜しくも敗退。クリタテコはこの後、3位決定戦まで進んで4位。負けたとはいえ本学チームのコマは、このチームを相手に手に汗握る熱戦を展開した。瀧野教授は出場について、「学生が設計・加工の知識を深め、独創性を育む絶好の機会。チームで取り組むことで、コミュニケーションを取りながらモノづくりをする経験にもなる」。チームの一員、鈴木君は「コマ作りのトレンド踏襲で済ませず、新トレンドを作り出すつもりで挑戦し続けたい」と語った。

新評議員に平塚教授



平塚健一教授

4月27日に開かれた理事会で、新しい評議員に機械サイエンス学科の平塚健一教授が選出された。任期は4月28日から平成28年2月5日まで。

く違つ。いい経験になりましたと話した。参加者は次の通り(敬称略)。
■学部生▽市川殺▽加藤伶▽京田貴大▽那佑太郎▽鈴木大輝▽井上佳祐▽川添徹也
■大学院生▽福地悠人▽丸山剛史▽高橋隆仁

15日の大戦には、所用で来られなかった辻君を除く4人で臨んだ。エントリ一時、加工バリ(1ミ弱)が残っていたことが発覚。コマが規定の直径20mm以下かどうかを測るリングを通れなかった。たまたまヤスリを扱う企業がイベント出展しており、超硬合金用ヤスリを借りてクリア。試合はトーナメント方式で、抽選で1回戦第一試合を引き当てた本学チームは、地方ブロック大会で無敗優勝したこともある名古屋の強豪、クリタテコと当たった。本学チームはコマ回し名人、大藤君を立てて戦ったが、2回連続して勝った方が2回戦へとというルールで惜しくも敗退。クリタテコはこの後、3位決定戦まで進んで4位。負けたとはいえ本学チームのコマは、このチームを相手に手に汗握る熱戦を展開した。瀧野教授は出場について、「学生が設計・加工の知識を深め、独創性を育む絶好の機会。チームで取り組むことで、コミュニケーションを取りながらモノづくりをする経験にもなる」。チームの一員、鈴木君は「コマ作りのトレンド踏襲で済ませず、新トレンドを作り出すつもりで挑戦し続けたい」と語った。

工藤さんに笹川科学研究助成

高温融体の表面張力測定を広げる研究で

工藤裕さん(機械サイエンス専攻修士1年)が小澤俊平准教授の研究室で進めている「レーザーによる加熱支援を用いた電磁浮遊法による高温表面張力測定」が、公益財団法人日本科学協会(大島美恵子会長)の平成27年度笹川科学研究助成に採択された。来年2月までにかかる研究費用が100万円を限度として助成される。



4月13日、東京都港区赤坂のANAインターコンチネンタルホテル東京で開かれた贈呈式で、大島会長から数物・工学系の代表として決定通知書を手渡された。写真。高融点材料の表面張力測定では、測定温度範囲の拡張が課題になっている。工藤さんの研究は、電磁浮遊技術にレーザー加熱を併用することでその範囲を広げ、雰囲気酸素分圧の影響を同時に考慮しようとするもの。達成すれば、チタンなどの高融点材料について、世界で初めて、温度と酸素吸着の影響を同時に考慮した、超高温までの正確な表面張力データが取れるようになるという。

その結果、結晶成長や精密製造など、各種の高温融体プロセスの数値シミュレーション精度が向上し、製品の高性能化、高品質化、開発期間の短縮などに繋がると期待される。

工藤さんは昨年10月に研究計画を日本科学協会に申請。選考基準となる研究の新規性や独創性、将来性が認められた。これからの研究について、問題点や必要条件などを想像して研究計画を書くのは大変だったという。工藤さんは「採択していただき光栄です。縁の下の力持ち(的研究)である点を評価してもらえたのかもかもしれません。助成を基に、面白いデータを取得できるよう頑張りたいと思います」と語った。

尾上・山本研5人が受賞

環境保全技術 国内外の学会で

生命環境科学科の資源・エネルギー・環境科学研究室(尾上薫教授、山本典史助教)の院生と4年生が海外や国内の学会で発表し、計5人が各賞を受賞した。

★**太田佳以**さん(生命環境科学専攻 修士2年)



★**横井将**さん(同)



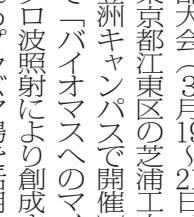
★**高張宏明**さん(同一年)



★**工藤弘輝**さん(同)



★**竹下飛鳥**君(生命環境科学科4年)



学会はそれぞれ、幅広い観点から資源の回収や、新エネルギー、環境保全技術の開発を検討するもの。尾上教授は「受賞は学生諸君の努力のたまもので、非常にうれしです。指導の先生方、スタッフにも感謝してい

第8回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(昨年11月17~19

The 21st Regional Symposium on Chemical Engineering (昨

日本海水学会第65年会

友納所長 入江主任 優秀論文賞

移動ロボット 自己位置推定の新手法



入江主任研究員



友納副所長

友納副所長と入江主任研究員が「2次元市街地図を用いた初めて訪れる場所における自己位置推定」二乗損失相互情報量による手法」を発表し、優秀論文賞を受賞した。

提案したのは、Google Mapのような既存の市街地図を用いて移動ロボットの自己位置を推定するための新手法。統計的依存性を最大化するやり方で、従来必要だった事前情報や物体

ロボットの最高レベルとされる国内会議・第20回ロボティクスシンポジウムは3月15、16日、長野県の軽井沢プリンスホテルウエストで開かれ

(昨年6月19~20日、那覇市の沖縄県男女共同参画センターで開催)で「NH₃/CO₂ 微細気泡を利用したハイドロキシアパタイトの反応解析」を口頭とポスターで発表し、学生優秀賞を受賞。

化学工学会第80年大会本部大会(3月19~21日、東京都江東区の芝浦工大豊洲キャンパスで開催)で「バイオマスへのマイクロ波照射により創成されるプラズマ場を活用した固相転換反応」をポスター発表し、学生賞の銅賞を受賞。

日本海水学会第6回学生研究発表会(3月9~10日、北海道登別市の登別グランドホテル)で「大気圧プラズマ・微細液滴複合法を用いたハイドロ

坂本研が論文賞

ホウ素ドーパダイヤモンドを研究



研究室で坂本教授(左)と今宮さん

坂本幸弘・機械サイエンス学科教授が、研究室で取り組んできた導電性ホウ素ドーパダイヤモンドについての集大成を昨年、研究室の今宮麻衣さん(工学専攻博士後期課程)、玉村秀司さん(機械サイエンス専攻博士前期課程・エヌアールシー株式会社)と共著で「日本材料科学学会」に発表し、論文賞に決まった。授賞式は6月5日、工学院大新宿キャンパスで開かれる。論文は「モード変換型

PMの鴻巣教授に 第1回ベストティーチャー賞

2014年度の第1回 Best Teacher 賞にプロジェクトマネジメント学科の鴻巣努教授=写真右=が選ばれ4月3日、表彰式が行われた。

F D委員会(内海秀幸教授・建築都市環境学科)は昨年、それまでの教育業績表彰制度に加え、授業アンケートの結果を反映したグッドレクチャー賞を創設。前期に11講義、後期に5講義を選出した。そのうち、鴻巣教授は前期で「プロジェクトマネジメント概論」が、後期で「コミュニケーションマネジメント」の各講義が選ばれ、小宮一仁学長が「良質な魅力ある授業を行っている」と評価し、ベストティーチャー賞に選ばれた。

この成果は「ダイヤモンドの特長とあいまって、電解合成や生体関連物質、環境汚染物質測定用の電極としての応用、さらにはより高性能なBドーパダイヤモンド合成への道をひらく」と高く評価され受賞となった。

坂本教授は「共著者たちだけでなく、関連研究に従事してきた研究室のみんなが取った賞だと思います」と語った。

学生4会 新会長が抱負

小さな芽から大木へ



文化会会長 中川 勇

(プロジェクトマネジメ
ント学科4年)
文化会とは、学校が公
認した文化系団体と活動
を支えている常任委員
会、文化の祭典実行委員
会からなる組織です。現
在36の部・同好会・愛好
会が加盟しており本学の
看板を背負って大会など
日々の活動に励んでいま
す。昨年は他大学との交
流や習志野市との合同企
画など課外活動の数は97
回となり、年々活発化し
てきております。
部活動を通して得るも

の多いです。日々高み
を目指し探求して得た知
識や技術はもちろん、巡
り会えた同好の士は一生
の宝となります。大切な
仲間と共に活動し成長し
てきた日々の想いは、後
の人生の活力となるはず
です。私は、その日々の
活動を皆がより良いもの
であると思えるように、
文化会を運営していきたく
と考えております。す
ぐには結果が見えないか
もしれませんが、大木も
小さな芽から成長し、千
里の道も一歩より起り
ました。目に見えないと
ころから着実に進め、日
々努力を重ねて最後には
大木となるように尽力し
ます。

熱い想いを忘れずに



学友会会長 木村 孝一

(経営情報科学科4年)
学友会とは、千葉工大
生全員で構成される組織
です。その中で、「学生
生活をより良いものにし
ていきたい」と強い志
を持った学生の集いが学
友会執行委員会です。
今年の学友会執行委員
会の目標は「学生の満足
度を向上を目指す」です。
主な活動は、学生からの
意見への対応、学内清掃
活動、学内のイベント情
報をまとめた広報誌の作
成・発行、学生生活を盛
り上げるイベントの企画
です。私は第52代体育会本
部員であり、会には長い
歴史が詰まっています。
しかし、長い年月が経つ
ことにより、全て過去と
同様にすればいいという
考えが生まれ、改善しよ
うという気が薄れている
と思います。
そこで、活動について
一から考え直す必要があ
ると思います。過去に行
ったことは、資料であ
り、マニュアルではあり
ません。翌年以降に向け
た資料作りが私たちに求
められます。より良い学
校づくりに向け、体育会

運営、他大学と意見を交
わす学生交流会の開催、
地域貢献活動、津田沼祭
の準備開催などです。日
々これらの活動を熱心に
取り組んでいます。
現在、学友会執行委員
会は80人を超える大きな
組織です。考え方は一人
一人違いますが、「学生
生活をより良くしたい
ていきたい」と強い志
を持った学生の集いが学
友会執行委員会です。
今年度の学友会執行委員
会の目標は「学生の満足
度を向上を目指す」です。
主な活動は、学生からの
意見への対応、学内清掃
活動、学内のイベント情
報をまとめた広報誌の作
成・発行、学生生活を盛
り上げるイベントの企画
です。

一から考え直したい



体育会会長 鈴木 博瑛

(電気電子情報工学科4
年)
現在、体育会には36団
体が加盟しています。体
育会本部では、加盟団体
が活動を円滑に行えるよ
う、施設や課外活動の管
理を行うとともに、学校
行事の企画、運営を行っ
ています。
私は、本部での活動を
一から考え直すことを心
掛けたいと思っています

伝統を新寮につなぐ



寮友会会長 池田 和平

(未来ロボティクス学科
4年)
寮友会は去年度の新寮
1年目というアイドリン
グ期間が終わり、今年度
から本格的に走り出して
いく時期になりました。
ツフェスティバル」は千
葉工大生全員が参加でき
ます。ぜひ参加し、自分
の新しい活動の場を探し
てみて下さい。

新寮で新たに加わった女
子寮生も含め全体として
約400人になり、これ
が本来の学生寮の姿とな
ります。そんな寮がこれ
から走っていくために
は、どうするか、そして
何処に向かうかが必要で
す。
では寮生は何処に向か
っているのか、それは自
治寮として集団生活をす

ることで学生の模範とな
ることだと考えます。つ
まり学生である私たち寮
生は、普段の生活や寮で
の行事を通して多くの他
人とかかわり、規則やコ
ミュニケーションの重要
性を知り行動していくこ
とで、基本的に一人暮らし
や自宅から通っている
学生の模範になっていく
ということだと思います。
そこに向かうために、
今年度は旧千種寮にあっ
た良き伝統を新学生寮に
合う形にして提示するこ
と、寮生の向かうべき姿
を全体に共通認識させる
ことで、より良き未来へ
の指標にしてほしいと考
えています。

茗溪、森田教授が出場

高校ラグビー「幻の決勝戦」



ポールを抱え突進する森田教授(ヘッドキャップ姿)

26年ぶりに実現し話題
となった第68回全国高校
ラグビー「幻の決勝戦」
茗溪学園(茨城)対・大
阪工大高(大阪、現常翔
学園)は4月26日、東大
阪市花園ラグビー場IIに
本学工学部教育センター
の森田啓教授(体育教室)

首相「桜を見る会」に 内田准教授が夫妻で

安倍晋三首
相主催の「桜
を見る会」
(4月18日、
東京・新宿御
苑で開催)
に、電気電子
情報工学科の
内田真人准教
授が招かれ
た。内田准教
授は直子夫人を伴い出席
し、文化・芸能、スポー
ツなど各界の招待客と
もに桜を楽しんだ。総務
省が諮問する情報通信審
議会のIPネットワーク
関係で専門委員や座長を
務めてきた功勞が認めら
れ、招待された。
歴代首相が催してきた

が元・茗溪ラグーマンと
して出場し、奮闘した。
森田教授は名古屋市中
身。幼稚園時、茨城県に
転居し茗溪学園中学、高
校のラグビー部でレギュ
ラーに。茗溪は華麗なパ
スと走力を誇り、全国高
校ラグビーで初めて決勝
に進出。1989年1月
7日、大阪工大高と対戦
する予定だった。しかし、
昭和天皇の崩御で中止さ
れ両校優勝となった。

往年のフォワード・森田
教授は、相手の縦にける
プレーを懸命に止めて横
への展開を目指した。
相手方には元日本代表
選手もおり、かなり激し
いタックルが飛び交っ
た。茗溪の持ち味はあま
り發揮できなかったが、
今できるベストのプレー
を楽しみ、心地よい時間
だったという。
試合は惜敗したが「旧
友たちとも交流でき、充
実した素晴らしい経験で
した。応援に来てくださ
った先生方に感謝しま
す」と森田教授。



満開のサクラの下で内田准教授

5千人もの招待客で、桜

大竹課長補佐が死去



花見の会は今年60回目。
当日は微風の暖かい晴天
で、桜も十分咲き残って
いた。
会場で配られた花リポ
ンを付けた内田准教授
は、招待客の間を通り過
ぎる安倍首相を見かけた
程度というが、直子夫人
は昭恵・首相夫人と握手
を交わしたという。招待
客には記念のヒノキ枡が
贈られた。
内田准教授は「(1万
学生課の大竹充芳課長補
佐が4月23日、肺がんの
ため死去された。40歳。
大竹氏は平成20年1月

に本学芝園学生課に事務
職員として勤務。フリー
スタイルスキー・アクロ
種目の元全日本チャンピ
オンで、温かながら有言
実行を貫く姿勢で信頼さ
れていた。学生の心に寄
り添うように接し、兄貴
的存在として頼られてい
た。

よりの人を見てきたよう
な気がしますが、春の椿
事(珍事)で良い思い出
になりました。
夫人と2人だけの外出
は、お子さんが生まれて
から5年ぶりで心に残っ
たという。

発見！ 未来人

清峰金属工業株式会社 営業部係員

川澄 圭祐さん

2012年、機械サイエンス学科卒

在学中は超音波接合機を用いてアル
ミ板を接合する条件などを調査する研
究を行いました。研究に必要な施設
・設備が充実しており、自分のやりた
いことが自由にできる環境が整ってい
ました。また、数学、物理、化学、英
語の基礎学力向上のためのサポートが

事業内容	洋白、りん青銅、特殊銅合金、板、条、線、棒の製造販売、条 製品のめっき加工		
所在地	本社 東京営業所	〒300-0805 〒111-0051	茨城県土浦市宍塚334番地 東京都台東区蔵前2丁目13番5号 スワロータワー7階

千葉工業大学 平成27年度予算

平成27年度予算案を承認

3月27日、東京カテ...

高等教育を 取り巻く環境

東日本大震災以降、全...

科学省は、グローバル...

学校教育法の一部改正

（平成27年4月1日施...

年度は、創立100年に...

事業計画

1 教育・研究

センターが協働し、ヒュー...

教育方法の改善について

平成27年度入試試験では...

の結果を反映したグッド...

習支援態勢を今後も継続

キャリア教育については...

の適正使用等研究者倫...

平成27年度予算の概要

I【事業活動収入】

II【事業活動支出】

III【基本金組入額】

IV【収支差額】

資金収支 (単位：円) 収入の部

支出の部

事業活動収支 (単位：円) 事業活動収入の部

事業活動支出の部

当年度収支差額

①人件費は、人員増による増加があるものの、退職金の減少によって8200万円減少する。

新任紹介

(敬称略) 本学との出会いや専門分野、趣味などを掲載しています

教員



内田 史朗 教授
(機械サイエンス学科)

オフィスや学内の清掃がゆきとどいていて、とても気持ちが良いです。学生の皆さんがきちんとあいさつしている素晴らしい大学だと感じました。皆さんのために自分ができることを全力で頑張りたいと思います。

趣味は旅行、温泉、季節の花の鑑賞。



小浦 節子 教授
(生命環境科学科)

親切で明るい方が多く、活発な意見交換ができるいい雰囲気の大学です。企業での経験を生かして就職のアドバイスをしたり、アイデア勝負でうれしさを届ける研究開発を進めたいと思います。

趣味は茶道。



原 祥太郎 教授
(機械サイエンス学科)

建物も新しく、教員も気さくな方が多いと感じています。

心機一転、研究・教育共に充実した日々を送りたいと思っています。専門分野は材料強度、計算材料科学。趣味はテニス。

稲坂 晃義 助教
(デザイン科学科)



駅前の好立地、明るくきれいなキャンパス、充実した設備、そして何より教育や研究に大変熱心な教員・学生がいる素晴らしい大学です。常に新しいことにチャレンジし、オンリーワンの教育・研究に励みたいと思います。趣味は街歩き、料理、スカッシュ。

福嶋 尚子 助教
(教育センター)



社会人1年生で何事も不慣れな私ですが、親切にご指導くださる先生方に囲まれ、とても感謝しています。

くじけそうになっていた学生さんが「ちよっと福嶋の授業行こうかな」と思ってくれるように頑張ります！

研究員

趣味は読書、料理、カラオケ。

ア技術研究センター)



若いがのびのびと新しいことにチャレンジできる環境です。STAIRの研究成果の充実と若手研究者の育成に励みたいと思います。

竹内彰一 主席研究員
(人工知能・ソフトウェア技術研究センター)



新しい施設で快適です。まだ人が少なく静かですが、これから研究者が増えていくので楽しみです。勝手にネットを徘徊したりリアルに人と会話したりし、時間とともに賢くなっていくような人工知能の実現を目指しています。

趣味はカメラ、自転車、ゴルフ。

和田 豊 上席研究員
(惑星探査研究センター)



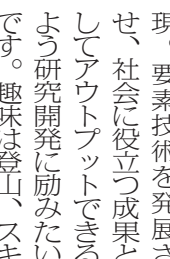
皆さん明るく、とても楽しそうに最先端の研究をしている職場です。私も宇宙工学の分野から、皆さんに負けないぐらい最先端の研究教育活動に取り組みたいと思

います。趣味はテニス、料理。



非常に活気があり、高い技術力を持ったメンバーや世界最先端の研究にチャレンジできる条件がそろった、とても恵まれた環境。目標は周辺の環境を認識して自律的に行動できるロボットの実現。要素技術を開発させ、社会に役立つ成果としてアウトプットできるように研究開発に励みたいです。趣味は登山、スキー、旅行。

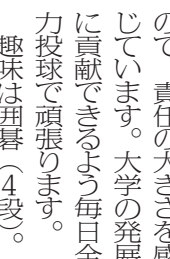
井手 直明
(情報メディアセンター 課長補佐)



情報システム課は、全ての学生・教職員の方々と関係している部署ですので、責任の大きさを感じています。大学の発展に貢献できるように毎日全力投球で頑張ります。

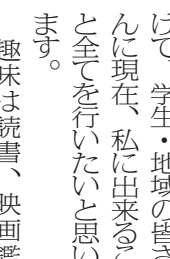
趣味は囲碁(4段)。

富内 直樹
(研究支援部 課長補佐)



明るく親かな先輩方から、適切な指導をいただいています。学生の皆さんはとも素直でのびやかな印象です。健康で明るい学生生活を送れるようサポートしていきたいです！

理系単科大学は初めてですが、とても優秀な教職員・学生の方が多いと感じています。教職員の皆様と共に、22世紀に向けて、学生・地域の皆さんに現在、私に出来ること全てを行いたいと思います。



趣味は読書、映画鑑賞、スポーツ。

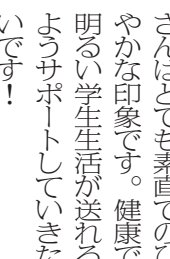


みなさんの明るく優しい雰囲気のおかげで、毎日多くのことを学ばせていただいています。まだまだ半人前ではありますが、千葉工大の進歩に助力できるように全力で頑張ります！ 趣味は観劇。

浅井 菊美
(学生センター 保健室 事務職員)

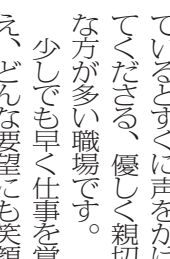


井手 直明
(情報メディアセンター 課長補佐)

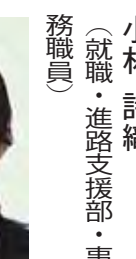


明るくさわやかながらも、警備の重要性を意識しています。大学の環境に早く慣れ、警備員として責任ある行動がとれるように頑張ります。

趣味はサイババルゲーム、少年野球のコーチ。

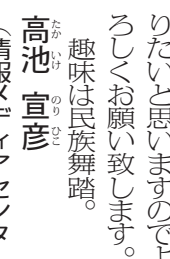


野口 泰宏
(総務部 警備員)



趣味はサイババルゲーム、少年野球のコーチ。

小林 詩織
(就職・進路支援部 事務職員)



高池 宣彦
(情報メディアセンター 事務職員)



分らないことがあれば、先輩方が丁寧に教えてください。年末に、私以外の家族がインフルエンザにかかってしまったため楽しみにしていた手作りの羊羹もお餅も断念し、今回の里帰りは鼻息が荒くなるほど興奮した。実家のある御宿では、

ますので、何卒よろしくお願いたします。

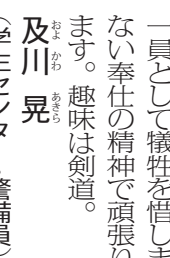


小西 守
(総務部 警備員)

趣味は自転車旅行、オートキャンプ。



及川 晃
(学生センター 警備員)



高池 宣彦
(情報メディアセンター 事務職員)



趣味はクラゲ射撃、ラグビー観戦。

同窓会



同窓会の評議員になり一年が経ちました。卒業後は地方大学で働いていたため、その間の同窓会行事には参加していませんでしたが、本学の教員になってからは同窓会の総会には欠かさず参加しています。やはり立場

同窓会という組織の存在の大切さなどを実感しています。今年も5月に総会がありますし、11月にはホームカミングデイが予定されています。一度外に出た者の立場を活かして同窓会の発展に尽くしていけたらと考えています。そういった意味で、まずは研究室の学生への同窓会に対する良いイメージの刷り込みを行ってほしいです。どうも、在学生には同窓会という組織の存在感が希薄なようで(私自身も在学中はそうでしたが)、学内の各所で同窓会の支援があることを知らしめ、同窓会という組織の良い点をアピールできたらなと思っています。

植物と建築物の場合に限らず、物事の魅力や本質は他なるものとの対比によってこそ明らかとなるものではないでしょうか。この新習志野キャンパスに通う学生の皆さんが、自分の専門領域について学ぶとともに、他者の考え方や、教養科目などで接することのできる多様な知識のあり方にもふれ、それらとの出会いを楽しめることを願っています。

電気電子情報工学科 今野 将

四季雑感



例年、この時期の私の関心事といえは、五月に上向くことの多いイチロの調子や、将棋の名人の戦の行方なのですが、大学では新習志野キャンパスの樹木や草花に目をひかれます。植物の名前に詳しくないのでその魅力を十分にお伝えすることが

この緑の心地よさは、現代的で全体に人工的な雰囲気の新習志野キャンパスの建物を背景とすることによって際立たせられているのだと思えます。またそれとともに、緑の豊かさに照らし出されることによって、普段取り立てて注意を払うことなく過ぎていく周囲の建物の特徴を改めて意識することにもなります。

教育センター 吉田 聡

編集だより



ゴールデンウィークに、久しぶりに実家へ帰省した。年末に、私以外の家族がインフルエンザにかかってしまったため楽しみにしていた手作りの羊羹もお餅も断念し、今回の里帰りは鼻息が荒くなるほど興奮した。実家のある御宿では、

山の匂い、堀りを、また、海でワカメや貝類を収穫するなど楽しみが満載だ。今回、真夏のような天候に、海だと、叔母を誘って磯へ繰り出した。水辺でキャッキヤとはしゃぐ娘をよそに、叔母と私は力マを手に海へ。昔はなんてことなかった岩場が、まるで罰ゲームのごとく困難な道に感じ、わーきゃー言いながらワカメを探した。

なんてことのない休日 大橋 慶子